



大切なスポーツの視点

- スポーツの原点「日常的苦勞からの解放、休養、遊び」
- 「勝ち」「負け」だけではない。
- 一部の競技選手や自信がある人だけのものではない。
- スポーツは、「する」「みる」「ささえる」視点が重要。
- 健常者が障がい者の限界を勝手に決めつけてはいけない。

これからのスポーツ

- ・**アダプティッド・スポーツ（修正する・新たに創り出す）**
→みんなができるスポーツに。ルールを少し変えてみるなど。
- ・**誰もが楽しく関わることのできるスポーツ**
→ゆるスポーツ・パラスポーツ・世界のスポーツ

※例年2月上旬に開催していましたが、今年度より、降雪を考慮し、12月第1日曜日に開催することになりました。

講師に、文教大学人間科学部人間科学科の二宮雅也教授をお招きし、ご講演いただきました。二宮氏は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会のボランティア検討委員等を歴任された経験が踏まえ、スポーツの新たな視点を提唱されています。これまでの地区運動会やスポーツ振興を改めて振り返ってみると、健常者のみが対象で「する」側の視点のみであったことに気づかされました。スポーツを幅広い視点で捉える重要性と新たな可能性を見出すことができました。講演会となりました。

新しいスポーツの価値とは!?

12月4日 第48回明日の致芳を語る会

令和5年度からの
新スタイル

致芳スポーツ WEEK

致芳人1スポーツ ~自主性と地域交流~

目指す姿

- ・他種多様なスポーツの普及と自主性の尊重。
- ・地区内各団体との連携強化。(PRの1本化)
- ・団体競技による地域連携強化。
- ・団体競技の縮小による、組織のスリム化と役員の負担軽減。
- ・「スポーツ」×「○○○」で「致芳らしさ」を追求。
〔例：防災、福祉、教育、産業などの視点を掛け合わせる。〕

期日	内容	対象	運営者	詳細
10月7日(土)	児童センター運動会	児童セ 親子・祖父母	児童セ	・園児、保護者、祖父母が参加
10月8日(日)	致芳スポーツ DAY	・全地区民 ・致芳出身者 ・地区内従事者	コミセン スポ振 実行委員 など	会場：致芳小学校グラウンド・体育館 8時30分～10時30分頃 〔個人参加〕 ※毎年検討。 ・グラウンドゴルフ大会 ・体力測定 ・講演会 ・ウォーキング講座 ・幼児おやつ拾い など 10時30分～12時00分頃 〔致芳地区運動会〕 ・チーム対抗戦(従来のチーム編成) ・団体種目2～3種目。 10時30分～13時00分頃 ・地域交流イベント(例:芋煮、ALL致芳市など) ※地域交流、産業振興部会等で検討。
10月9日(月)	(祝)スポーツの日	—	—	
10月10日(火) ? 10月13日(金)	軽スポーツ講座	全地区民	コミセン	・日替わりで種目を設定。(日中or夜間) ・(例)百歳体操、ヨガ、太極拳、スポーツ吹き矢 など ・地区外からの参加も可能。
10月14日(土)	一日八里秋の陣	全地区民	コミセン	・従来形式。(有志実行委員会主導) ・地区外からの参加も可能。

致芳地区運動会

- ・種目は、毎年検討する。
- ・「体力・若さ・性別」=「勝利」にならない種目設定。(レクリエーション、NEWスポーツ要素を導入)
- ・年齢や性別の制限を設けない。
- ・致芳地区内企業チームの参戦も可能。
- ・地域の特産品などを目玉賞品にする。



前例に囚われず、時代に合った内容を盛り込んでいきます!